

# 東洋音楽研究

第八三号

# 目次

## 論文

バナ族のゴング音階とその演奏形式―ベトナム中部高原コントウム省ダクヴォク村の事例から―

柳沢英輔・桜井真樹子・櫻井直樹…………… 1

## 研究ノート

能が元曲の影響を受けて成立したとする説について…………… 蒲生 郷昭…………… 25  
マプト市におけるティンビラ音楽の現代的な展開……………

―独立後の文化政策とワールド・ミュージックが与えた影響―…………… 古謝麻耶子…………… 39

『カーブース・ナーマ』に見る十一世紀ベルシアの楽師とその音楽…………… 柘植 元一…………… 53

『音楽研究』（共益商社書店）掲載の作曲関連記事にかんする一考察…………… 仲辻 真帆…………… 65

クレズマー音楽の復興プロセス……………

―復興者と演奏レパートリーの観点から―…………… 三代真理子…………… 87

## 書評

神田邦彦著『中世楽書の基礎的研究』…………… 豊永 聡美…………… 101

山田智恵子著『義太夫節の語りにおける規範と変形―地合の音楽学的研究』…………… 茂手木潔子…………… 106

長谷部剛・山寺光知共編訳『林謙三『隋唐燕楽調研究』とその周辺』…………… 蒲生美津子…………… 112

飯野りさ著『アラブ古典音楽の旋法体系……………

―アレppoの歌謡の伝統に基づく旋法名称の記号論的解釈―…………… 水野 信男…………… 117

磯水絵著『説話と横笛 平安京の管絃と楽人』…………… 出口 実紀…………… 121

豊永聡美著『天皇の音楽史 古代・中世の帝王学』	三島 暁子	125
川崎瑞穂著『徳丸流神楽の成立と展開―民族音楽学的芸能史研究―』	樋口 昭	129
榎木亨著『日本近世期における楽律研究―『律呂新書』を中心として―』	武内恵美子	133

書籍紹介

藤田隆則・高橋葉子・丹羽幸江共編『謡を楽しむ文化―京都の謡の風景―』	森田 都紀	137
小菅大徹著『江戸時代における尺八愛好者の記録―細川月翁文献を中心として―』	志村 哲	140

彙報

定例研究会記録

東日本支部	143	
西日本支部	147	
沖繩支部	150	
第六八回大会記録	151	
第三五回「田邊尚雄賞」選考報告	奥山けい子	155
平成二九年度 藝術学関連学会連合に関する報告	遠藤 徹	157
平成二九年度 ICTM (国際伝統音楽学会) に関するお知らせ	早稲田みな子	159
平成二九年度 音楽文献目録委員会の活動報告	森田都紀・山本華子・吉野雪子	161
平成二八・二九年度 役員等一覧		162
東洋音楽学会機関誌『東洋音楽研究』投稿規定		165
編集後記		169